

2020（令和2）年度

# 地域連携センター一年報

津市立 三重短期大学

## 目 次

### 地域連携センター事業を振り返って

I	令和2年度 地域連携事業の概要	・・・	1
1	生涯学習機会の提供		
(1)	オープンカレッジ	・・・	2
(2)	地域連携講座	・・・	2
(3)	みえアカデミックセミナー2020	・・・	2
(4)	出前講座	・・・	3
(5)	プログラミング講座	・・・	4
(6)	講座開催一覧	・・・	4
(7)	科目等履修生制度	・・・	5
2	高等学校等との連携		
(1)	高大連携校との高大連携事業	・・・	7
3	産学連携の推進		
(1)	株式会社三重銀行及び株式会社三十三総研との産学連携	・・・	8
(2)	三重短期大学シーズ集「みえたんの種」等の活用	・・・	12
(3)	JA三重中央ベジマルファクトリーとの産官学連携事業	・・・	13
(4)	下津醤油との産官学連携事業	・・・	13
4	市政との連携		
(1)	政策研究・研修	・・・	16
(2)	市政との連携講義「自治体行政特論」	・・・	19
(3)	審議会、委員会委員への参画	・・・	21
5	地域の大学との連携		
(1)	三重大学生物資源学部との連携	・・・	27
6	学生による地域連携		
(1)	地域連携サポーター制度	・・・	28
(2)	津市消防団学生機能別団員	・・・	28
(3)	三重短期大学大津波想定避難訓練	・・・	29
(4)	美化デー	・・・	29
(5)	榊原の地域振興を考える会との連携	・・・	29
(6)	三重とこわか国体弁当メニュー開発	・・・	30
II	資料		
1	施設開放	・・・	32
2	三重短期大学地域問題研究所の研究一覧	・・・	34
3	令和2年度三重短期大学出前講座 テーマ一覧表	・・・	40

本学は、津市が設置する公立短期大学として、従来から「地域に開かれた大学」を目指してきた。大学の理念にも「地域貢献の理念」を掲げて、「津市が設置する公立短期大学として、地域の諸問題や社会の要請に対応した特色ある研究の推進を図り、その成果を積極的に地域に還元するとともに、高等教育に対する地域のニーズに的確に応え生涯教育の振興に寄与することを通じて、地域社会に貢献する」ことを大学の責務として謳っている。この地域貢献の理念を実現するため、2008年4月に、地域連携及び地域貢献事業を所掌する総合窓口として「地域連携センター」を設立し、教員のセンター長の他に担当の事務職員が配置された。

「地域連携センター」は、設置目的のなかに、「三重短期大学は、少子高齢化時代の福祉の充実、生涯学習ニーズの高まり、情報化の高度展開など地域の抱える課題を常に念頭において、地域社会が求める人材の養成ばかりでなく、産学官連携、自治体の政策課題等の研究、地域の生涯学習との連携などに取り組むことを通じて、地域社会や住民との連携・交流を重視し、市民文化の向上と地域・産業の活性化に貢献することをめざしてまいります」と宣言するとともに、「生涯学習機会の提供」、「高等学校との連携」、「産学官連携の推進」、「市政との連携」、「地域の大学との連携」、「学生ボランティア活動の支援」を所掌事業として掲げている。

生涯学習のための教育プロジェクトとして、本学では「オープンカレッジ」と「地域連携講座」を開講している他、「出前講座」も行っている。「オープンカレッジ」は、本学の教員が講師となって市民の方に大学の講義を気軽に体験していただくことを狙いとして、7月から11月に、毎月1回、土曜日に2講座ずつ開催する連続講座である。「地域連携講座」は、学外から講師を招き、本学の教員がコーディネーターとなって、地域の身近な話題を市民の方に専門家が分かりやすく解説することを狙いとして、年に2回開催している。「出前講座」は、本学教員の研究や社会活動の中から講演可能なテーマを事前に設定し、市民の要望に応じて、教員が出向いて講演・解説などを行うものである。概ね15名程度以上の参加が見込めるグループ・団体が開催する三重県内の集まりを対象としている。いずれの講座も、年々受講者が増えており、市民の間に定着してきたと言える。

本学は、2008年3月に三重県立亀山高校と初めて高大連携協定を締結したのち、2010年3月に三重県立津商業高校と、同年6月に三重県立相可高校と、2012年1月に三重県立みえ夢学園高校、三重県立久居高校と高大連携協定を締結し、現在、協定締結校は5校となっている。一方、株式会社三重銀総研から資金を得て、三重銀総研と本学の共催で、学生を対象とした「小論文コンクール」を2007年から毎年開催している。学生からの応募数が増加してきており、学生の間に定着してきている。「政策研究・研修」は、津市など地方自治体等が抱える諸課題をテーマに、自治体職員と本学教員が共に調査・研究し、関係諸課題の解決に当たるとともに、より戦略的な政策の推進が図れる職員の政策形成能力を養うことを目的としており、連携センター設立当初から実施している事業である。

2015年度に文科省の「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」に三重大学の事業が採択され、本学もこの事業協力機関として参加するとともに、2016年度には、三重県内の13高等教育機関と県は、県内高等教育機関の教育、研究、地域貢献の各機能の向上を図り、人口減少の抑制及び地域の活性化を実現するため、「高等教育コンソーシアムみえ」が設立され、本学も一定の役割を果たしてきている。

このように地域連携センターの事業は年々拡大してきているが、2020年度は、新型コロナウイルスの感染拡大状況を受けて、多くの事業が中止ないしは延期を余儀なくされた。次年度は、感染状況に気を配りつつ、事業の継続に努めていきたい。

# I 令和2年度 地域連携事業の概要

地域連携センターを中心に、本学の地域連携の6つの柱のもと、令和2年度は次のような取組を進めた。

## 三重短期大学地域連携センター

本学では、1952（昭和27）年の開学以来、地域問題の研究や公開講座の開講など地域に開かれた大学づくりを進めてきたが、2008（平成20）年、この地域への貢献、地域との連携を組織的かつより積極的に進めるため地域連携センターを設置し、センター長と事務局に専任職員を配置するとともに、学内には地域連携委員会を立上げた。

その際、本学が当面実施すべき地域連携事業の取組を次の6つに整理した。

### (1) 生涯学習機会の提供

市民のニーズを把握し、学科の特性に応じて教養的なものからより専門的なものまで多様な地域連携講座や公開講座などの教育プロジェクトを提供するなど生涯学習機会の提供を図る。

### (2) 高等学校等との連携

より高いレベルの教育を受けることを希望する高校生の希望に応えるとともに、高校生の学習意欲の喚起や進路選択に資するため、高大連携講座など三重県内の高等学校等との相互の協力・連携事業を推進する。

### (3) 産学連携の推進

教育内容をより充実し、社会の要請に応えることとするため、企業やNPOとの連携を推進するとともに、企業や団体などのニーズに即した受託研究等を推進する。

### (4) 市政との連携

津市や地域の自治体が抱える政策課題について、教員と自治体職員が共に調査・研究を行い、課題解決と自治体職員の人材育成を目指す「政策研修」を実施するなど津市が直面している諸課題に対応し、市の発展に資するため、市政のシンクタンクとしての機能の強化を図る。

### (5) 地域の大学との連携

教育・研究活動の一層の向上を図り、また、更なる地域社会の発展、貢献のため、地域の大学間の学術交流や協力・連携を強化する。特に、市の4つの大学、短期大学の特性を活かした連携を進めることを目指す。

### (6) 学生による地域連携

地域課題を常に意識した教育を追求し、ボランティア活動の促進、フィールドワークの拡充などを通して地域問題への関心の喚起により将来の地域リーダーの育成を目指す。

## 1 生涯学習機会の提供

本学では、平成19年度から津市元気づくり事業の一環として地域連携講座を開講、また平成24年度より、本学の講義を多くの方に体験していただくことを目的に「オープンカレッジ」、「出前講座」を開設した。そして平成30年度からは、小中学生向けに「プログラミング講座」を開設した。

さらに、三重県生涯学習センターによる県下高等教育機関の連携事業「みえアカデミックセミナー」にも積極的に参加し、教育研究の成果を市民に還元している。

また、本学の通常講義の中から受講したい科目を自由に選択して学習することができ、所定の成績を修めると単位認定される科目等履修生制度も多くの利用があった。

### (1) オープンカレッジ

市民の方が大学の講義を気軽に体験できるよう、引き続きオープンカレッジを開設予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大により本年度の実施を中止した。

### (2) 地域連携講座

市民の方に津市元気づくり事業の一環として外部講師を招いて本年度も地域連携講座を開講予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大により本年度の実施を中止した。

### (3) みえアカデミックセミナー2020

より高度な学習機会の提供を目指すとともに、県内の各高等教育機関の研究活動を紹介し、高等教育機関への理解を深めてもらうことを目的として、夏季期間に県総合文化センターを会場に各高等教育機関独自の研究テーマを発表する「公開セミナー」と、地域のニーズに応じて高等教育機関が地域に出向く「移動講座」がある。

平成8年に県内4年制大学による「三重6大学公開講座」としてスタートし、平成16年から、県内全ての短期大学、高等専門学校も参画し15の高等教育機関による公開セミナーを「みえアカデミックセミナー」としてリニューアルした。(※担当者会議資料(三重県生涯学習センター作成)等から)

- ① 開催日時 令和2年8月8日(土)午後1時30分～午後3時15分
- ② 会場 三重県文化会館 レセプションルーム
- ③ 内容 講演 演題 身体を鍛える運動と食事
- ④ 概要 健康に生活するために体を鍛える上で、運動と食事は重要です。とくに運動を中心に、運動と食事が脳、筋、脂肪、骨、その他臓器に及ぼす影響について、近年の新しい研究成果を踏まえながら説明します。そして、身体を強くするために実生活で取り組んで頂きたい活動について紹介します。
- ⑤ 参加者数 33名
- ⑥ 担当教員 生活科学科 講師 相川 悠貴



#### (4) 出前講座

本学教員の研究や社会活動のなかから講演可能なテーマを事前に設定し、要望に応じて地域に出向き、講演・解説などを行う出前講座を2012（平成24）年度に開設した。（内容は「資料」の令和元年度三重短期大学出前講座テーマ一覧表参照）

##### ア 地域の医療や福祉のことを考える（コロナ中止）

- ① 開催日時 令和2年5月8日（金）午後1時30分～午後3時00分
- ② 会場 亀山市役所3階委員会室（亀山市議会）
- ③ 参加者数 16名
- ④ 担当教員 生活科学科 教授 長友薫輝

##### イ 自分に必要な栄養量を考える（コロナ中止）

- ① 開催日時 令和2年5月13日（水）午後3時00分～午後4時00分
- ② 会場 津税務署 第一会議室
- ③ 参加者数 60名
- ④ 担当教員 生活科学科 助教 杉野香江

##### ウ ロコモを調べてロコモ予防（コロナ中止）

- ① 開催日時 令和2年6月23日（火）午前9時30分～午前11時30分
- ② 会場 村主公民館
- ③ 参加者数 15名
- ④ 担当教員 生活科学科 助教 杉野香江

##### エ 地域の医療や福祉のことを考える

- ① 開催日時 令和2年8月19日（水）午前10時30分～午後0時00分
- ② 会場 亀山市役所3階委員会室（亀山市議会）
- ③ 参加者数 16名
- ④ 担当教員 生活科学科 教授 長友薫輝

##### オ 三重県の食状況について

- ① 開催日時 令和2年11月7日（土）午前10時00分～午前11時30分
- ② 会場 三重県総合文化センター

- ③ 参加者数 100名
- ④ 担当教員 生活科学科 准教授 駒田亜衣

カ 生活習慣病の予防（コロナ中止）

- ① 開催日時 令和2年12月9日（水）午後7時00分～午後9時00分
- ② 会場 北郊デイサービスセンター
- ③ 参加者数 15名
- ④ 担当教員 生活科学科 助教 服部知美

キ 健康のための運動と食事（コロナ中止）

- ① 開催日時 令和3年2月24日（水）午前10時00分～午前11時00分
- ② 会場 桜が丘集会所
- ③ 参加者数 25名
- ④ 担当教員 生活科学科 講師 相川悠貴

ク 食事をバランスよく食べよう！

- ① 開催日時 令和3年3月25日（木）午前9時30分～午前11時00分
- ② 会場 橋北公民館
- ③ 参加者数 40名
- ④ 担当教員 生活科学科 教授 阿部稚里

(5) プログラミング講座

平成30年度より、小学校4年生から中学校2年生までを対象に、Scratchを用いた初心者向けプログラミング講座を開設した。なお、本年度はコロナウイルス感染症拡大により本年度の実施を中止した。

(6) 講座開催一覧

区分	テーマ	開催日	会場	参加者 (人)
みえアカデミックセミナー	身体を鍛える食事と運動	8月8日(土)	三重県文化会館レセプションルーム	33
出前講座 (高大連携事業を除く)	地域の医療や福祉のことを考える	8月19日(水)	亀山市役所	16
	三重県の食状況について	11月7日(土)	三重県総合文化センター	100
	食事をバランスよく食べよう！	3月25日(木)	橋北公民館	40
出前講座 (高大連携事業)	牛乳の等電点沈殿	10月29日(木)	相可高等学校	78

## (7) 科目等履修生制度

科目等履修生制度は、通常講義の中から受講したい科目を自由に選択して学習することができ、所定の成績を修めると単位認定される制度で、本学では平成8年度より実施している。

満18歳以上を対象に、前・後期で受講生を募って書類審査で選抜する。科目等履修生になると図書館等の施設が本科生と同様に使用可能となる。ただし、入学検定料、入学金、1単位当たりの費用が必要となる。

令和2年度の科目等履修生は、前後期あわせて2名が受講した。

受講科目は下表のとおり英語Ⅰや独語Ⅰなどの語学系科目から法経科、生活科学科の専門科目まで幅広く44科目が選択された。

受講者は、会社等に勤めながら自分のキャリアアップのため知識を得ようとする一方、現在の職や趣味などを更に深めようと関係する科目を履修される方、また、資格取得に備え所要の単位を取得される方など志願理由は様々であるが、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、資格取得に必要な科目のみ開講した。

(前期)

科目	単位	人数
社会福祉論	2	0
病理学	2	0
臨床栄養学実習	1	0
栄養教育論実習Ⅰ	1	1
給食計画実務論実習Ⅰ	1	1
(選科履修)		
住環境計画	2	0
社会福祉論Ⅰ	2	0
障害者福祉論	2	0
児童福祉論	2	0
社会保障論Ⅰ	2	0
公的扶助論	2	0
社会福祉発達史	2	0
ジェンダー論	2	0
社会思想史	2	0
家族関係学	2	0
カウンセリング論	2	0
金融論	4	0
地域史	2	0

(後期)

科目	単位	人数
食品の機能	2	0
栄養教育論実習Ⅱ	1	0
管理栄養特殊講義	2	1
調理学実習Ⅲ	1	1
食品の機能	2	0
解剖生理学実験	1	0
民法Ⅲ	2	0
地方自治法	2	0
人間関係論	2	0
社会学	2	0
自然と科学	2	0
情報と社会	2	0
心理学	2	0
会計学	4	0
工業簿記および原価計算	2	0
税法	2	0
環境政策論	2	0
情報と社会	2	0
民法Ⅱ	2	0

差別と人権	2	0
-------	---	---

(通 年)

科 目	単 位	人 数
独語Ⅱ	2	0
英語購読	2	0
英語Ⅰ	2	0
独語Ⅰ	2	0
給食計画実務論実習Ⅱ	1	1
校外実習事前事後指導	1	1

## 2 高等学校等との連携

本学では、より高いレベルの教育を受けたいと願う高校生の希望に応えるとともに、高校生の学習意欲の喚起や進路選択に資するため、高等学校との相互協力や連携事業を推進する「高大連携」を、地域連携事業のひとつの柱に位置づけている。

本年度は、連携協定を締結している、三重県立相可高等学校との「高大連携」の取組を実施した。尚、例年実施している相可高等学校教員による調理実習、久居高等学校での出前講座は、コロナウイルス感染対策による今年度の実施を中止した。

また、高等学校を対象とした連携以外にも、本学附属図書館による市内の中学校での学生によるボランティア活動、司書による図書指導事業を通じた連携にも取組んでいるが、コロナウイルス感染対策により実施を見送った。

### (1) 高大連携校との高大連携事業

高大連携校と、それぞれの協定に基づき、次の事業を行った。

#### ア 相可高等学校との出前講座（会場：相可高等学校）

- ① 日 時 令和2年10月29日（木）午前8時30分～午前12時30分
- ② 講 師 生活科学科 講師 相川悠貴
- ③ 内 容 牛乳の等電点沈殿
- ④ 対 象 相可高等学校1・2年生78名

### 3 産学連携の推進

平成19年1月、本学と株式会社三重銀行及び株式会社三重銀総研（現・株式会社三十三総研）は、学術研究の振興とその成果の地域社会への活用並びに組織運営に関する協働を推進するために産学連携を強化し、相互の発展及び地域の発展に貢献することを目的とする「産学連携に関する包括協定」を締結した。

今年度も、この協定に基づき、学生を対象とした小論文・作品コンクールを引き続き開催したほか、三十三総研より講師を招いた「企業論」の開講等の連携事業を実施した。

また、シーズ集「みえたんの種」を活用し本学の地域連携の取組みの周知、広報に努めた。

#### (1) 株式会社三重銀行及び株式会社三十三総研との産学連携

産学包括協定に基づき、次の事業を実施した。

##### ア 三重短期大学・三十三総研主催小論文・作品コンクール

株式会社三重銀行、株式会社三十三総研における地域貢献、本学における教育研究、及び地域貢献の推進を目的に、小論文・作品コンクールを実施した。

##### ① 趣旨

三重短期大学と三十三総研の地域貢献を目的とする産学連携推進事業の一環として、学生の新鮮な知性・感性を活かした小論文・作品コンクールを実施した。

##### ② テーマ

『持続可能な社会～SDGsの視点から～』

##### ③ 応募資格

三重短期大学在学学生（科目等履修生を含む）。共同執筆による応募も可

##### ④ 応募規定

- ・ 応募は1人（共同執筆の場合は1グループ）1作品のみ
- ・ 日本語で書かれた未発表のものに限る
- ・ 文字数は4,000字程度

##### ⑤ 募集期間

令和2年7月1日～令和2年12月13日

##### ⑥ 選考委員

委員長	三重短期大学	学長	村井	美代子
委員	三重短期大学	法経科講師	川上	生馬
委員	三重短期大学	生活科学科准教授	北村	香織

##### ⑦ 応募作品（タイトル名）

男性への逆差別について～女性専用車両を中心に考察する～  
生活保護制度の運用と生存権保障

SNSコミュニケーション「その正義感は誰のため？」

日本の奨学金問題

コロナウイルスとリモートワークで貧困社会はどうか

「変化する我々の暮らし」  
日本の働き方改革  
LGBTについて 日本の同性婚  
未来  
SDGs 目標2「飢餓をゼロに」個人レベルで何ができるか  
プラスチックに汚染される地球。  
中高年ひきこもり増加と労働市場のつながり  
日本がとるべき再生可能エネルギー発電の形  
AIによる今後の仕事と新しい生活様式  
プラスチック製品の削減  
食料廃棄の今。  
貧困をなくすことで飢餓ゼロへ  
ハラスメント～改善に向けて～  
乾パン de とろとろグラタン  
「SDGsの視点から考える今後の暮らし方」  
食事から健康に  
ホワイトチョコランチ  
「ほうじ茶プリン」  
ひとくちカンパンピザ  
ビタミンDを多く摂取できるレシピ  
「ビタミンDたっぷり鮭サンド」  
2種類のふわふわ乾パンドーナツ～さつまいも&バナナ風味～  
乳と卵を使わない 濃厚豆乳かぼちゃプリン  
すべての人に健康を  
乾パンで！？ココアホットケーキ  
ビタミンD摂取のためのおうちで簡単レシピ  
お・も・て・な・しグルテンフリー「伊勢うどん風 魚うどん」

(全 32 作品)

⑧ 選考結果

【最優秀賞】

氏名	タイトル名	学科	部門
	該当なし		

【学長賞】

氏名	タイトル名	学科	部門
平賀 佑飛	日本がとるべき再生可能エネルギー発電の形	法経科第2部2年	小論文

【優秀賞】

氏名	タイトル名	学科	部門
吉田 真里奈	LGBTについて 日本の同性婚	法経科第1部 経商コース2年	小論文
小笹 歩望	食事から健康に	食物栄養学専攻 2年	レシピ
原見 亮輔	乳と卵を使わない 濃厚豆乳かぼちゃプリン	食物栄養学専攻 2年	レシピ

【佳作】

氏名	タイトル名	学科	部門
田中 佑奈	男性への逆差別について～女性専用車両を中心に考察する～	法経科第1部 法律コース2年	小論文
角谷 香澄	中高年ひきこもり増加と労働市場のつながり	法経科第2部2年	小論文
井口 瑞貴	乾パンdeとろとろグラタン	食物栄養学専攻 2年	小論文
橋本 唯吹	「ビタミンDたっぷり鮭サンド」	食物栄養学専攻 2年	レシピ

⑨ 表彰式

日 時 令和2年11月14日(木) 午後3時～午後4時  
 場 所 三重短期大学 大学ホール2階 小教室AB  
 表彰者 三重短期大学学長 村井 美代子  
 株式会社 三十三総研調査部長 別府 孝文  
 司 会 三重短期大学法経科 教授 楠本 孝



(表彰式)

#### イ 三十三総研より講師を招いた講義

① 講義科目 企業論

(専修第二(経済・経営)分野 前期 火曜日9-10限目 受講者数56名)

② 講師 山川 敏

(株式会社三十三総研 コンサルティング部リーダー 主任コンサルタント)

③ 講義のねらい

(株)三十三総研から講師を招き、日々の企業コンサルから得た経験をもとに、会社を運営していくうえで大切なこと、経営革新の考え方や起業の視点について、社会人になってからも役立つような実践的な内容で講義いただいた。

④ 授業内容

- ・ 未来を予測し仮説をたてる (1)起業の意義と外部環境把握
- ・ 同 (2)外部環境把握
- ・ お客様の満足を考える
- ・ 事例研究
- ・ 起業家の成功要因を考える：3つの側面からの考察
- ・ 自分研究：自分の特長、やってみたいこと
- ・ 経営理念の立て方：基本理念と行動理念
- ・ マーケティングと経営戦略 (1)意義
- ・ 同 (2)勝つための仕組みづくり
- ・ 決算書の見方と資金繰り
- ・ ビジネスプランの作成 等

(2) 三重短期大学シーズ集「みえたんの種」等の活用

教員の研究業績や社会的活動を載せたシーズ集「みえたんの種」や地域連携センターのホームページを活用して、本学の地域連携の取組みの周知、広報に努めた。

※ 法経科楠本孝教授（前地域連携センター長）の内容

楠本 孝（くすもと たかし）

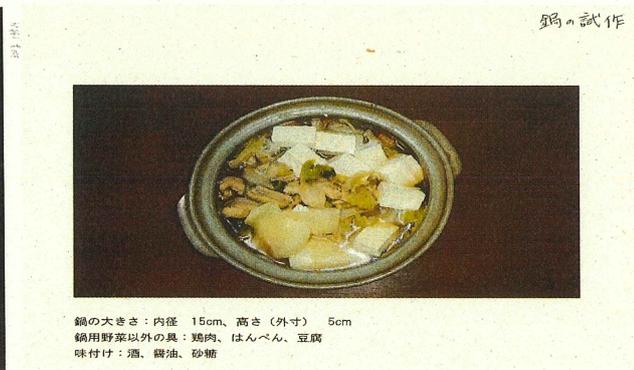
職名	法経科 教授
授業科目	刑法、刑事政策
キーワード	犯罪、非行、刑罰、保護処分、治安、社会復帰、社会的排除、社会統合
研究テーマ	刑法解釈方法論、差別表現の刑事規制、触法精神障害者問題
研究テーマの応用例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少年非行の分析と対策</li> <li>・精神障害者の触法行為と対策</li> <li>・外国人犯罪の分析と対策</li> <li>・ヘイト・スピーチと対策</li> </ul>
最近の研究業績	<p>[著書]</p> <p>『刑法解釈の方法と実践』 現代人文社 2003年</p> <p>[論文]</p> <p>「ヘイトスピーチ対策としての公共施設利用制限について」地研年報 22号 2017年／「ヘイトスピーチ刑事規制法の保護法益」『刑事法と歴史的価値とその交錯—内田博文先生古稀記念論文集』（法律文化社）2016年／「ドイツにおけるヘイト・スピーチに対する刑事規制」法と民主主義 485号 2014年／「集団侮辱罪と民衆煽動罪」龍谷大学矯正保護総合センター研究年報 2号 2012年／「裁判員制度のもとでの死刑」日本の科学者 513号 2010年／「外国人登録制度の崩壊と新たな在留管理制度への再編」法と民主主義 441号 2009年／「裁判員制度の下での精神障害者」三重法経 135号 2009年／「外国籍の子どもの就学義務化をめぐる法的諸問題」日本の科学者 488号 2008年／「保安処分論議の今日的総括」法律時報 74巻 2号 2002年</p> <p>[その他]</p> <p>「第2回 津市における来日外国人の生活実態調査報告書」地研年報 15号 2010年／「津市における来日外国人の生活実態調査報告書」地研年報 14号 2009年／「津市における外国人児童・生徒の就学状況調査報告書」2008年3月</p>
最近の社会的活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2007年 津市青少年問題協議会委員（現在に至る）</li> <li>・2017年 津市人権施策審議会委員（現在に至る）</li> </ul>
メッセージ	<p>犯罪の原因は一様ではありませんが、社会的に排除され、社会参加の機会を奪われている人々が犯罪や非行に至りやすいということは否定できません。従って、そうした人々を社会に統合する施策こそが犯罪・非行対策上重要である、という観点から研究を進めています。</p>

### (3) JA 三重中央ベジマルファクトリーとの産官学連携事業

- ① 内 容 カット野菜の新商品「鍋用野菜」について  
パッケージデザイン及び具材について意見提案を行う。
- ② 参加者 三重県津農林水産事務所 津地域農業改良普及センター  
副参事兼課長 山本 育子  
主任 橋本 真帆  
JA 三重中央ベジマルファクトリー 部長 久世 訓  
三重短期大学 生活科学科教授 橋本 博行  
三重短期大学 生活科学科教授 阿部 稚里
- ③ 日 程 令和2年6月17日(水)  
令和2年8月18日(火)  
令和2年10月19日(火)  
令和2年11月16日(月)



(パッケージデザイン)



(試作)

※令和3年3月末に JA 三重中央ベジマルファクトリーは「株式会社ベジマルファクトリー」として独立し、連携事業は今年度をもって終了した。

### (4) 下津醤油との産官学連携事業

- ① 内 容 下津醤油(株)では、高田会館の食事処で提供している「伊勢芋とろろ」の調理時に大量に排出される皮を購入しており(1kgで200円)、皮を乾させて粉末にしたものを小麦粉に混ぜて「伊勢芋かりんとう」を製造販売している。しかしながら、小麦粉3,600gに対し、伊勢芋の粉末400gしか使用しない為、他にも活用できないか、煎餅など製造できないか考えている。
- 小麦粉や米粉に伊勢芋の粉末を混ぜて乾燥させて揚げる、もしくは焼いてみてはどうかと考えているが、粉の配分やどんな粉が適しているか検討がつかないので、食物栄養学専攻でレシピ案を考案して頂き、コラボ商品として販売できないものか、ご協力をお願いしたい。
- ② 提案日時 令和3年3月12日(金)  
以下の内容で提案を行った。

2021年3月12日

「伊勢いも薄焼きせんべい」のレシピ提案

三重短期大学 食物栄養学専攻

1. はじめに

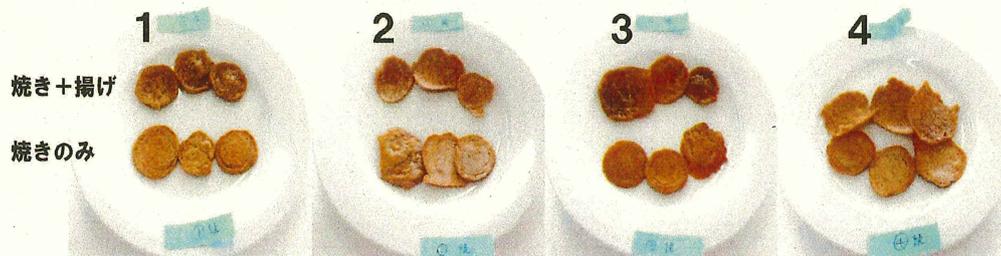
伊勢イモ粉を使用した薄焼きせんべいのレシピの提案をさせていただきます。

2. レシピ作成と試作品の評価

薄焼きのレシピは、炭酸せんべい、手作りエビせんべい、乾燥アミエビのせんべい、エビ満月風のレシピを参考に、小麦粉と片栗粉はほぼ同量にして、重曹もしくはベーキングパウダーを添加した配合で行いました。下記4つの配合割合で、焼きのみと軽く焼いたのちに+揚げの2種類で試作して味や食感を評価しました。

試作番号	1	2	3	4	%	備考
<b>レシピ</b>						
伊勢いも粉	4	4	4	4	4.9	・添加量を増やすと特有なおいが出て、色が黒くなる
薄力粉	18	18	18	18	22	
片栗粉	18	18	18	18	22	・ベーキングパウダーの方が薄く軽く仕上がる
ベーキングパウダー	—	0.8	—	0.8	1	
重曹	0.8	—	0.8	—		
ほんだし (味の素糊)	—	—	1	1	1.2	
食塩	1	1	—	—		
水	40	40	40	40	48.9	
合計	81.8	81.8	81.8	81.8	100	
評価 (焼き、揚げ)				○		
<b>作り方 (約 25 枚分)</b>						
【焼きのみ】						
1. 材料をボウルに入れて混合する。						
2. スプーンで、油を引いたホットプレート (200℃) 上に生地を乗せる。						
3. 生地上にオープンシートをひいて、プレート上で温めて置いた鉄製の重りをのせる。						
4. 約1分間加熱後、裏返す。						
5. ①・③は4分程度加熱。②・④は4分程度加熱後、さらに3分追加。						
【焼き+揚げ】:						
1. 1分加熱後、裏返して1分30秒程度プレス焼き。						
2. 油温170℃で1分揚げ。						

3. 試作品画像



4. まとめ

今回の試作サンプルのうち、4の評価が高い結果でした。したがって、4のレシピを基本にして、味や風味、そしてトッピング等の改良を行えば良いと考えています。ただ、調理加工方法により食感に大きな差が出ると思われるので、加熱方法等の検討が重要と思います。

【参考資料】

講評1・焼き

①	色は濃く、少し厚め。ぱりぱり。美味しい。塩味がきつく、芋感は少ない・炭酸せんべいの味。塩は減らすべき。
②	色は薄く、厚みは薄い。軽い。芋感はほとんどない。塩味も①に比べて少ない。ベーキングパウダーの味がする。
③	色は濃く、少し厚め。ほんだし感が強く、減らしたほうがおいしい。炭酸の味はする。芋感はない。
④	色は薄く、厚みは薄い。軽い。ほんだし感は少ない。芋感は少ない。①-④の中では1番良いのではないか。

講評2・焼き+揚げ

①	色は濃く、少し厚め。生地に生焼け感ある。揚げ時間はもう少し長い方がいい。塩味・炭酸味はするが焼きのみほどではない。芋感も少しあり。
②	色は薄く、厚みは薄い。軽い。ベーキングパウダーの味がする。焼きのみより塩味が薄く感じる。
③	色は濃く、少し厚め。揚げ時間はもう少し必要。ほんだし感はある。
④	色は薄く、厚みは薄い。軽い。ほんだし感は少ない。芋感は少ない。①-④の中では1番良いのではないか。

以上

## 4 市政との連携

本学では、従来から津市立の公立短期大学として地域振興等の諸課題について、教員の各種審議会等への参画や市教育委員会主催の市民向け講座への参加を通じて、専門的な知識や経験を活用し、市政との連携を進めてきた。

今年度は、市政の諸課題について本学教員と職員が共に調査、研究する「政策研究・研修」を一つのテーマで取り組んだほか、津市立の特性を活かし、津市を一つの事例として、市長をはじめ職員によるリレー講義で自治体行政の現状や課題等について考える「自治体行政特論」を引き続き開講した。

### (1) 政策研究・研修

#### ① 目的

地方分権が進められるなか、地方財政の厳しさや市民意識の高まりを受け、津市をはじめ多くの地方自治体で「経営型」の行政運営、効率的行政運営が進められている。

一方、大学など高等教育機関では、従来からの教育、研究に加え、地域への貢献、地域との連携が強く求められるようになり、三重短期大学においても、地域のシンクタンク機能の充実を図ることを目指し市政との連携を地域連携の一つの柱としている。

政策研究・研修は、津市など地方自治体等が抱える諸課題をテーマに、当該職員と本学教員が共に調査・研究し、関係諸課題の解決にあたりとともに、より戦略的かつ先進的な政策事務事業等の推進が図れる職員の政策形成能力を養うことを目的とする。

#### ② 研修テーマ、指導教員及び研修生

テーマ 「保育施設における災害時の非常時用献立の提案とガイドラインの作成」に関する研修

指導教員 生活科学科 准教授 駒田 亜衣

研修生

NO	氏名	所属
1	小林 綾	鳥羽市 健康福祉課
2	山本 幸代	伊勢市 保育課
3	糺谷 真希	松阪市 こども局こども未来課
4	國分 みどり	亀山市 子ども未来課
5	宮崎 真理子	鈴鹿市 子ども育成課
6	諸戸 由美子	津市 久居総合支所地域振興課
7	井川 裕子	津市 子育て推進課
8	川北 美沙	津市 健康づくり課

#### ③ 研修期間

令和2年6月25日から令和3年2月18日まで

④ 主な研修内容（「研修計画」参照）

テーマ毎に分かれた研修生グループが、指導教員による指導の下、先進地視察やデータ解析等を行い、具体的施策への反映を視野に入れた調査・研究を行い、その成果を取りまとめた。

⑤ 研究・研修計画

## 研究・研修計画

<p>[テーマ]</p> <p>保育施設における災害時の非常時用献立の提案とガイドラインの作成</p> <p style="text-align: right;">担当教員 生活科学科准教授 駒田亜衣</p>	
<p>テーマ解説</p>	<p>平成24年10月に発刊された三重県「災害時栄養・食生活支援活動ガイドライン」によると、給食施設の災害時対応には非常時用の献立作成が推奨されており、「3日分の献立作成、栄養価の算出」及び「1日(1献立)ごと献立の手順書や食器、盛り付け方」について、誰が見てもわかるように作成すると記載されている。</p> <p>このような献立作成は、保育施設にとって容易なことではなく、県内でも作成している市町は少ない。理由として、保育施設での備蓄品保管場所がないこと、通所施設であるため、直ちに被災後の給食を求められないこと、3日分の備蓄品を確保するための財源がないことなどが挙げられる。</p> <p>しかし、災害時に孤立して連絡系統が絶たれ、保護者の迎えが数日後になる場合、食事の提供が必要になると想定される。市町栄養士は、その際に活用できる献立例や、現場に指示できるガイドラインの必要性を感じており、また、調理員の技術や知識を高めたいとも考えている現状がある。</p> <p>そこで本研究・研修では、保育施設において災害時にどのような献立が適切であるかを検討し、より現場に即した3日分の献立の提案と、災害時におけるガイドラインを作成することを目的とする。作成にあたり、大震災などを経験した市町の保育施設でどのような備蓄品があり、献立作成の工夫があるのかを視察する。</p> <p>また、地域の避難所において、乾パンを備蓄しているところが多くあり、保育施設に提供される機会がある。しかし、そのままでは硬く、多くの乳幼児にとって食べにくいという実情があるため、乾パンを活かした給食献立も考案する。</p>
<p>研究計画等</p>	<p>令和2年6月～12月 非常用献立の検討、災害時ガイドラインの作成、乾パン利用献立の試作と検討(2 か月に 1 回程度)</p>

	<p>の研修)、  震災地域の視察(1か所)  令和3年1月～2月 非常用献立、ガイドライン冊子の印刷・完成、  研修のまとめと報告</p>
備考	<p>視察については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、中止  する場合があります。</p>

⑥ 成果報告会

- ・日 時 令和3年2月18日(木) 午前10時30分～午前11時30分
- ・場 所 三重短期大学 管理棟2階 演習室1
- ・内 容 研修目的等の説明、成果発表、研修内容に関する質疑応答
- ・主な参加者  
津市子育て推進課保育担当主幹、学長、地域連携センター長、事務局長、事務局次  
長ほか

## (2) 市政との連携講義「自治体行政特論」

津市を一つの題材に地方行財政に対する学生の理解を深めることを目的として、津市の市長をはじめ課長級等の職員のリレー講義形式で実施する「自治体行政特論」を平成12年度より開講しており、令和元年度は次の内容で実施した。

当講座は、教室での講義だけでなく市議会の傍聴なども実施して地方行政の理解を深めている。

- ① 講義科目 自治体行政特論 (共通科目 前期 水曜日9-10限)
- ② 担当教員 生活科学科 教授 小野寺 一成
- ③ 受講者数 64名

回	実施日	講義科目(キーワード)等	講師等
1	5月13日(水)	オリエンテーション、津市の概況、津市の政策について	生活科学科 教授 小野寺 一成 政策財務部 【政策課調整・制作担当主幹(兼)企画員 フォレスト 幹子】
2	5月20日(水)	文化・スポーツについて	スポーツ文化振興部 【スポーツ振興課企画管理・事業担当主幹 舟橋 裕子】 国体・障害者スポーツ大会推進局 【総務企画課調整・総務企画担当主幹 今井 博之】
3	5月27日(水)	産業振興(商工業/観光)について	商工観光部 【ビジネスサポートセンター次長(兼)企業誘致課長 別府 博】 【商業振興労政課長 廣田 耕次】
4	6月 3日(水)	産業振興(農林水産業)について	農林水産部 【林業振興課林業振興担当主幹 藤田 昌也】
5	6月10日(水)	選挙について 津市議会傍聴にむけて	生活科学科 教授 小野寺 一成 選挙管理委員会 【選挙管理委員会事務局次長 橋本 直樹】
6	6月15日～ 6月18日	議会見学(視聴)	
7	6月24日(水)	津市の教育について	教育委員会事務局 【人権教育課長 金児 由美】

8	7月 1日(水)	都市計画について	都市計画部 【津駅前北部土地地区画整理事務所調整保障担当主幹 川邊 純二】 【津駅前北部土地地区画整理事務所工務担当副主幹(兼)保障担当副主幹 木村 博友】
9	7月 8日(水)	財政について	政策財務部 【財政課主事 中藪 大晃】
10	7月15日(水)	環境行政について	環境部 【環境政策課資源循環推進担当主幹吉田 和史】 【環境保全課調整環境保全担当主幹(兼)環境衛生担当主幹 小林 大介】
11	7月22日(水)	津市の福祉について	健康福祉部 【健康保険医療助成課フレイル予防推進担当副参事(兼)健康づくり課フレイル対策調整担当副参事 竹森 さわか】
12	7月29日(水)	参加と協働のまちづくりについて	市民部 【地域連携課調整・広聴相談担当主幹(兼)対話連携担当主幹 蟻戸 孝明】
13	8月 5日(水)	津市シティプロモーション	政策財務部 【広報課主査 今城 茉莉】
14	8月26日(水)	自治体経営(市長)	市長 前葉 泰幸

### (3) 審議会、委員会委員への参画

津市や周辺自治体が直面している諸課題について、本学教員の専門的な知識や経験を活かし、各種審議会や委員会等へ参画し市政との連携を図った。

本学教員の今年度の審議会、委員会等への参画状況は次のとおり

	氏名	委嘱依頼元	委嘱依頼内容	期間又は期日
1	北村 香織	日本福祉大学	「関係行政論<保健・医療、福祉分野>」非常勤講師	令和2年4月1日～ 令和3年2月28日
2	藤枝 律子	鈴鹿市都市整備部	鈴鹿市都市計画審議会委員	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日
3	高橋 彩	公益社団法人 大谷保育協会	「保育心理士養成講座（名古屋会場）」講師	令和2年9月5日
4	小野寺一成	三重県公共事業 総合推進本部事務局	三重県公共事業評価審査委員会 委員	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日
5	長友 薫輝	名古屋芸術大学	「健康スポーツ(ネット型スポーツ)、健康スポーツ(レクスポ)」非常勤講師	令和2年4月1日～ 令和3年3月15日
6	相川 悠貴	名古屋芸術大学	「健康スポーツ(ネット型スポーツ)、健康スポーツ(レクスポ)」非常勤講師	令和2年4月1日～ 令和3年3月15日
7	村井美代子	文部科学省高等教育局	大学設置・学校法人審議会（大学設置分科会）委員	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日
8	川上 生馬	三重県農業協同組合中央会	内部監査士検定試験受験者研修会講師	令和2年6月9日
9	川上 生馬	日本福祉大学	「民法」非常勤講師（経済学部） 「専門演習Ⅰ」非常勤講師（経済学部）	令和2年9月14日～ 令和3年2月28日
10	飯田津喜美	国立大学法人 三重大学	「調理実習Ⅱ」非常勤講師	令和2年10月1日～ 令和3年3月31日
11	相川 悠貴	国立大学法人 三重大学	「陸上競技」非常勤講師	令和2年4月10日～ 令和2年9月30日
12	田添 篤史	京都大学大学院 経済学研究科	「Introduction to East Asian Economies」非常勤講師	令和2年10月1日～ 令和3年3月31日
13	長友 薫輝	名城大学	「地域福祉論」非常勤講師	令和2年9月14日～ 令和3年3月31日
14	長友 薫輝	皇學館大学	「社会保障論」現代日本社会学部非常勤講師	令和2年4月10日～ 令和2年9月18日

15	武田 誠一	皇學館大学	「公的扶助論」現代日本社会学部非常勤講師	令和2年9月19日～ 令和3年3月31日
16	川上 生馬	愛知大学	「担保物権法」非常勤講師（法学部） 「相続法」非常勤講師（法学部）	令和2年4月1日～ 令和2年9月13日
17	木下 誠一	学校法人 高田学苑 高田短期大学	「生活の理解Ⅲ」非常勤講師	令和2年10月1日～ 令和3年3月25日
18	木下 誠一	鈴鹿市都市整備部	鈴鹿市景観アドバイザー	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日
19	藤枝 律子	鈴鹿市都市整備部	鈴鹿市建築審査会委員	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日
20	北村 香織	鈴鹿大学短期大学部	「社会福祉」非常勤講師	前期 令和2年4月1日～令和2年 9月30日 後期 令和2年10月1日～令和3年 3月31日
21	武田 誠一	三重県介護支援 専門員協会	三重県介護支援専門員協会専 門研修委員会委員	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日
22	大畑 智史	三重県出納局	三重県政府調達苦情検討委員会 委員	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日
23	浅野 和也	愛知東邦大学	「地域労働市場論」「経営学Ⅱ」「専門 演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」 「専門演習Ⅲ」「専門演習Ⅳ」	前期 令和2年4月1日～令和 2年9月22日 後期 令和2年9月23日～令和 3年3月31日
24	長友 薫輝	金沢大学大学院	「医療経済学特論」非常勤講師	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日
25	相川 悠貴	鈴鹿大学短期大学部	「基礎栄養学」非常勤講師	前期 令和2年4月1日～令和 2年9月30日 後期 令和2年10月1日～令和 3年3月31日
26	駒田 亜衣	鈴鹿大学短期大学部	「公衆栄養学」非常勤講師	前期 令和2年4月1日～令和 2年9月30日 後期 令和2年10月1日～令和 3年3月31日
27	藤枝 律子	鈴鹿市総務部	鈴鹿市個人情報保護審査会委員	令和2年1月15日～ 令和4年1月14日

28	小野寺一成	津市都市計画部	津市建築審査会委員	令和2年1月1日～ 令和3年12月31日
29	藤枝 律子	津市都市計画部	津市建築審査会委員	令和2年1月1日～ 令和3年12月31日
30	北村 香織	三重県子ども・福祉部	三重県発達障害者支援地域協議 会委員	委嘱日～ 令和3年11月30日
31	藤枝 律子	三重県環境生活部	三重県自動車廃物認定委員会委 員	令和元年12月1日～ 令和3年11月30日
32	長友 薫輝	松阪市介護保険課	松阪市高齢者保健福祉計画等策 定委員会委員	委嘱日より2年間
33	駒田 亜衣	津保育所施設長 連絡協議会	「津市保育所職員研修会」講師	令和2年6月11日
34	藤枝 律子	鈴鹿市総務部	鈴鹿市情報公開審査会委員	令和元年10月1日～ 令和3年9月30日
35	藤枝 律子	鈴鹿市総務部	鈴鹿市行政不服審査会委員	令和元年10月1日～ 令和3年9月30日
36	浅野 和也	愛知東邦大学	「経営学Ⅱ」「経営管理論Ⅱ」「専 門演習Ⅳ」非常勤講師	2019年10月1日～ 2020年3月31日
37	木下 誠一	松阪市建設部	松阪市景観アドバイザー	令和元年11月1日～ 令和3年10月31日
38	村井美代子	内閣府 男女共同参画局総務 課	男女共同参画推進連携会議議員	委嘱日～ 令和3年8月15日
39	藤枝 律子	鈴鹿亀山地区 広域連合	鈴鹿亀山地区広域連合情報公 開審査会 鈴鹿亀山地区広域連合個人情 報保護審査会委員	令和元年10月1日～ 令和3年9月30日
40	北村 香織	三重とこわか国体・ 三重とこわか大会 実行委員会	三重とこわか国体・三重とこわ か大会実行委員会全国障害者ス ポーツ大会専門委員会ユニバー サルデザイン部会委員	委嘱日～ 令和3年10月31日
41	村井美代子	三重県総務部総務課	県民功労者選考委員会委員	令和元年8月1日～ 令和5年7月31日
42	飯田津喜美	(公社)三重県栄養士 会	(公社)三重県栄養士会スポー ツ委員会委員	令和元年7月1日～ 令和3年6月30日

43	村井美代子	三重県医療保健部 健康づくり課	「三重とこわか県民健康会議」 構成員	委嘱日～ 当会議解散まで
44	長友 薫輝	社会福祉法人 津市社会福祉協議会	津市地域福祉活動計画推進委員	令和元年6月1日～ 令和3年5月31日
45	北村 香織	亀山市総合政策部	亀山市新庁舎整備基本計画等検 討委員会委員	委嘱日～ 令和4年3月31日
46	木下 誠一	三重県 子ども・福祉部	三重県ユニバーサルデザインの まちづくり推進協議会委員	令和元年7月12日～ 令和3年7月11日
47	北村 香織	三重県 子ども・福祉部	三重県ユニバーサルデザインの まちづくり推進協議会委員	令和元年7月12日～ 令和3年7月11日
48	木下 誠一	津市都市計画部	津市景観審議会委員	令和元年7月1日～ 令和2年6月30日
49	木下 誠一	公益財団法人三重県 建設技術センター	公益財団法人三重県建設技術セ ンター 理事	令和元年6月18日～令和3年 度(定時評議員会終結時まで)
50	長友 薫輝	四日市市市民文化部	四日市市民協働促進計画に基づ く取り組みの検討	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日
51	小野寺一成	津市健康福祉部	津市福祉有償運送運営協議会委 員	令和元年5月1日～ 令和3年4月30日
52	川崎航史郎	津家庭裁判所	津家庭裁判所委員会委員	平成30年5月1日～ 令和2年4月30日
53	木下 誠一	鳥羽市建設課 まちづくり整備室	鳥羽市都市計画審議会委員	平成30年7月1日～ 令和2年6月30日
54	藤枝 律子	社会福祉法人 三重県社会福祉協議会	三重県福祉サービス運営適正化 委員会委員	平成30年6月26日 ～令和2年6月25日
55	長友 薫輝	三重県子ども・福祉部	三重県障害者介護給付費等及び 障害児通所給付費等不服審査会 委員	辞令交付日から3年 間
56	小野寺一成	津市農林水産部	津市農業振興対策協議会委員	委嘱日より2年間
57	藤枝 律子	津市教育委員会	津市いじめ問題対策連絡協議会 委員	平成30年8月20日 ～令和2年8月19日
58	木下 誠一	三重県県土整備部	「三重県開発審査会」委員	平成30年9月14日 ～令和2年9月13日
59	飯田津喜美	(公財) 三重県体育協 会	(公財) 三重県体育協会スポー ツ医・科学実行委員会委員	平成30年6月18日 ～2年以内

60	東福寺一郎	三重県立図書館	三重県立図書館協議会委員	平成30年9月3日～ 令和2年9月2日
61	小野寺一成	三重県県土整備部	三重県事業認定審議会委員	平成30年9月19日 ～令和2年9月18日
62	楠本 孝	津市青少年センター	津市青少年問題協議会委員	平成30年10月1日 ～令和2年9月30日
63	武田 誠一	津市健康福祉部介護保 険課	津市介護保険事業等検討委員会 委員	平成30年10月1日 ～令和2年9月30日
64	楠本 孝	津市市民部人権課	津市人権施策審議会委員	委嘱日～ 令和3年1月9日
65	東福寺一郎	社 会 福 祉 法 人 三重県共同募金会	三重県共同募金会配分委員会委 員	平成30年6月25日 ～令和2年6月24日
66	藤枝 律子	津市教育委員会	津市いじめ対策会議委員	平成30年11月10 日～2年間
67	小野寺一成	四日市市 都市整備部	四日市市開発審査会委員	平成30年11月1日～ 令和2年10月31日
68	武田 誠一	四日市市健康福祉部	四日市市障害者差別解消支援 地域協議会委員	委嘱日～ 令和2年10月31日
69	藤枝 律子	三重県環境生活部	三重県私立学校審議会委員	平成31年2月1日～ 令和5年1月31日
70	藤枝 律子	桑名市総務課	桑名市情報公開・個人情報保護 審査会委員	平成30年12月6日 ～令和2年12月5日
71	藤枝 律子	桑名市総務課	桑名市行政不服審査会委員	平成30年12月6日 ～令和2年12月5日
72	木下 誠一	鈴鹿市都市整備部	鈴鹿市景観審議会審査部会員	平成31年1月1日～ 令和2年12月31日
73	藤枝 律子	鈴鹿市都市整備部	鈴鹿市景観審議会委員	平成31年1月1日～ 令和2年12月31日
74	長友 薫輝	桑名市社会福祉事務 所	桑名市地域自立支援協議会委員	平成31年2月～ (2年)
75	武田 誠一	社会福祉法人あゆみ	社会福祉法人あゆみ理事	平成31年1月1日～ 令和2年6月30日
76	武田 誠一	松阪市介護保険課	松阪市福祉有償運送運営協議会 委員	平成31年4月1日～ 令和4年3月31日
77	長友 薫輝	三重県総務部	三重県行政不服審査会委員	平成31年4月1日～ 令和4年3月31日

78	藤枝 律子	三重県総務部	三重県行政不服審査会委員	平成31年4月1日～ 令和4年3月31日
79	木下 誠一	津市都市計画部	津市景観アドバイザー	平成31年4月1日～ 令和3年12月31日
80	長友 薫輝	三重県子ども・福祉部	三重県障がい者差別解消調整委員会委員	令和元年4月1日～ 令和3年3月31日
81	藤枝 律子	三重県環境生活部	三重県男女共同参画審議会委員	平成31年3月16日 ～（2年間）
82	北村 香織	三重県子ども・福祉部	三重県障がい者虐待防止対策支援事業に伴う専門家チーム構成員	令和元年4月1日～ 令和3年3月31日
83	村井美代子	公益財団法人日本 高等教育評価機構	「短期大学評価判定委員会」委員	令和元年4月1日～ 令和3年3月31日
84	藤枝 律子	四日市市総務部	四日市市情報公開・個人情報保護審査会委員	平成30年4月1日～ 令和3年3月31日
85	北村 香織	日本福祉大学	「関係行政論＜保健・医療、福祉分野＞」非常勤講師	令和2年4月1日～ 令和3年2月28日
86	藤枝 律子	鈴鹿市都市整備部	鈴鹿市都市計画審議会委員	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日

## 5 地域の大学との連携

三重大学生物資源学部との連携により、三重大学の講義「共通セミナー」に本学学生が参加した。

本年度は新型コロナウイルス対策として、オンラインでの参加となった。

### (1) 三重大学生物資源学部との連携 農林体験セミナー

自然環境や農林業に対する理解を深めることを目的に、三重大学の講義「共通セミナー」に本学学生も参加し、生物資源学部の講義をオンラインにて受講し、三重大学の学生とも交流を深めた。

#### ア 農場コース【土は生きている】

- ① 月 日：令和2年8月19日（水）～21日（金）
- ② 内 容：三重大学生物資源学研究科との連携事業（開放授業）として「土は生きている」をテーマに、地域特産農産物などに関する知識の習得やイネの収穫、伊勢茶の加工、うどん作りなどをオンラインで学んだ。

#### イ 演習林コース【森は生きている】

- ① 月 日：令和2年9月14日（火）～16日（木）
- ② 内 容：「森は生きている」をテーマに、天然生林・二次林などに関する知識の習得や人工林の土砂災害、森林環境などをオンラインで学んだ。

## 6 学生による地域連携

本学では、およそ700人の学生がそれぞれの目的を持って勉学に励みながら、サークル活動や大学行事を通して短期大学生生活を送っており、この学生の短期大学生生活を通しての地域との連携を地域連携の主体の一つとして掲げている。

今年度「地域連携サポーター」制度に36名の学生の登録があり、このサポーターを中心に、地域の様々なイベントへの学生参加や地域清掃のボランティア活動などに取り組むが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大により活動を行わなかった。

また、本学学生が津市消防団学生機能別団に入団し、消防団員として様々な訓練を受けるなどの取組を行った。本年度の団員数は50名であった。

### (1) 地域連携サポーター制度

三重短期大学地域連携センターでは、地域連携活動やボランティア活動の情報を希望者に提供する地域連携サポーター制度を実施しており、登録学生数は36名であった。

#### ア 一身田寺内町・環濠・本山境内清掃

本年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、清掃活動は中止となった。

### (2) 津市消防団学生機能別団員

同団は平成25年度に三重県下初となる学生機能別団として発足し、同団員は、消防講演会等における支援及び広報を行う火災予防活動、災害時における避難所での応急救護、物資配布などの支援などの避難所での活動を行う。

今年度も引き続き募集し、新入生50名が新たに任命され、津市夏期訓練などの訓練や津市消防本部が主催する防災啓発イベントに参加した。



(防災訓練)



(防災啓発研修)

### (3) 三重短期大学大津波想定避難訓練

近年中に発生が危惧される南海トラフ巨大地震による津波による被害が、本学の所在地域でも予想されることから、学生、教職員のほか地元自治会及び老人会合わせて、高台の避難所である三重県総合文化センターまでの徒歩による避難訓練を実施している。また、学内では、三重県防災危機管理部防災企画・地域支援課から派遣された防災啓発車による地震体験や煙体験ハウスによる地震や火災の体験を行っていたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、未実施となった。

### (4) 美化デー

- ①日 時 令和3年1月28日(木) 12時30～13時30分
- ②内 容 市が実施する市民清掃デーにならい、三重短期大学「美化デー」として、今年度は時期を入試直前に変更して、本学周辺の清掃を学生と教職員とで行った。
- ③参加数 学生・教職員35名



### (5) 榊原の地域振興を考える会との連携

- ①期 間 令和2年7月～令和3年3月
- ②内 容 津市榊原地区の地域活性化の取り組み活動として、郷土料理レシピ開発に連携し、榊原地区の調理団体が調理した郷土料理の試食・意見交換を経て、講義で学んだ知識を基に地元食材を使い試食会を実施した。
- ③参加者数 食物栄養学専攻学生・教員2名
- ④試食会 10月8日(木) 食メニュー検討会 18食  
11月22日(木) 農地DE直売 11食  
11月29日(木) 榊原ノルディックウォーキング 10食  
12月6日(木) 榊原ぼかぼかまち歩き 13食

## (6) 三重とこわか国体弁当メニュー開発

三重とこわか国体・三重とこわか大会津市実行委員会では、三重とこわか国体の弁当調達に関し、三重とこわか国体の津市開催競技において、選手・監督をはじめとした大会参加者等の昼食の手配を行う際、弁当メニューの開発について三重短期大学と協力をし、全国各地から訪れる選手・監督などに三重県・津市を知っていただけるようなメニューを提供することとなり、今年度は弁当メニューの開発を(株)寿美家和久しげよしと三重短期大学生生活科学科食物栄養学専攻教員及び学生で検討した。

なお、令和2年2月三重とこわか国体・三重とこわか大会津市実行委員会弁当専門部会が津市において承認され、三重短期大学生生活科学科食物栄養専攻助教服部知美先生が委員となった。

- ① 協議日 令和2年9月29日(火)  
令和2年10月16日(金)  
令和2年11月19日(木)  
令和3年1月27日(月)
- ② 参加者 (株)寿美家和久しげよし 製造本部長 佐伯有香  
料理長 斎藤 巧  
競技運営課 運営調整担当主幹 前田浩司  
運営調整担当副主幹 野田恵美  
主事補 鎌田慎也  
三重短期大学 生活科学科 准教授 駒田亜衣  
助教 服部知美  
大学総務課 副主幹 濱口淑子  
食物栄養学専攻 学生

# 三重とこわか国体

第76回国民体育大会 ときめいて人 かがやいて未来 2021

## 第3回 国体弁当メニュー検討に係る協議



日 時：令和2年11月19日(木) 11時00分から

場 所：三重短期大学 11番教室

三重とこわか国体・三重とこわか大会津市実行委員会





## II 資料

### 1 施設開放

本学では、「地域に開かれた大学」づくりを積極的に推進するために、教育・研究に支障のない限り、大学施設を地域に開放し、住民の皆さんが利用できるように努めている。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大により施設の開放は行わなかった。

#### (1) 図書館

##### ア 概要

開館日	月曜日～金曜日
開館時間	開講日（講義がある日）…8：30～21：00 休講日（講義がない日）…8：30～17：00
休館日	土曜、日曜、休日、年末・年始（12月29日～翌年1月3日）、毎月月末、その他館長の定める日。また、1月と7月は、利用不可
利用資格	18歳以上の津市在住・在勤・在学者

##### イ 月別一般登録者数及び閲覧者数

年月	登録者数	未登録閲覧者数
令和2年4月	0	0
5月	0	0
6月	0	0
7月	0	0
8月	0	0
9月	0	0
10月	0	0
11月	0	0
12月	0	0
令和3年1月	0	0
2月	0	0
3月	0	0
合計	0	0

(2) 体育施設（体育館、テニスコート、グラウンド）

ア 概要

開放日	1月5日から12月27日までの間における土、日及び祝日		
開放時間	9:00～21:00		
使用料 (別途、夜間 照明料要)	体育館	9:00～18:00	1時間につき 500 円
		18:00～21:00	1時間につき 750 円
	テニスコート	9:00～18:00	1時間につき 100 円(一面につき)
		18:00～21:00	1時間につき 100 円(一面につき)
	グラウンド	9:00～18:00	1時間につき 1,000 円
		18:00～21:00	1時間につき 1,000 円
利用条件	事前に、津市に在住、在勤、又は在学する者 10 人以上で構成された団体に登録が必要。先に「開放施設使用団体登録申請書」を提出し登録のうえ「開放施設許可申請書」にて申込み		

イ 月別登録団体数及び利用日数

年月	登録団体数	利用日数		
		体育館	テニスコート	グラウンド
令和2年 4月	0	0	0	0
5月	0	0	0	0
6月	0	0	0	0
7月	0	0	0	0
8月	0	0	0	0
9月	0	0	0	0
10月	0	0	0	0
11月	0	0	0	0
12月	0	0	0	0
令和3年 1月	0	0	0	0
2月	0	0	0	0
3月	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

## 2 三重短期大学地域問題研究所の研究一覧

地域問題研究所では、地域社会の発展、本学の教育・研究の発展に寄与することを目的に研究員（専任教員）が自身の専門分野に近い地域社会に関わる諸問題を調査研究している。

令和2年度は、次のような研究が行われた。

### 【 2020 年度 研究員 申請一覧 】

#### ●研究員

研究員名	研究テーマ	研究概要
相川 悠貴	運動が食欲や食事摂取に及ぼす影響	<p>【背景】対象や運動様式、対象者心理によって、運動が食欲や食事摂取に与える影響は異なることが明らかになってきた。エアロビック・抵抗性混合リズム運動は、楽しく、身体に高負荷を与えられる運動であり、健康維持に有効な運動として知られている。</p> <p>【目的】エアロビック・抵抗性混合リズム運動が食欲と食事摂取に及ぼす影響を明らかにすることである。</p> <p>【方法】健康な人を対象に、安静後と60分のエアロビック・抵抗性混合リズム運動後の食欲と食事摂取を、交差試験により検討する。対象者は8人程度募集する。運動強度は心拍数の変動により評価する。心理尺度はPOMS 2短縮版を用いて評価する。食欲、疲労はビジュアル・アナログ・スケールを用いて評価し、食事摂取は被験食を自由摂取させて評価する。</p> <p>【予想される結果】60分のエアロビック・抵抗性混合リズム運動後はイライラ感や抑うつ感が減少する。その満足感と運動による疲労により食欲が減少し、食事摂取量の増加が生じないことが予想される。</p> <p>【本研究の意義】体重減量に対する効果的な運動方法を提言する知見になり得る。これは、三重県民や三重短期大学学生の健康増進に繋がる知見となる。また、食物栄養学専攻学生と実施することで、卒業後三重県の健康増進に携わる者に、運動と食事に関する知識を身につけさせる成果も得られる。</p>
楠本 孝	「川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例」について	「川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例」は、我が国で初めていわゆるヘイトスピーチに刑事罰を科す条項を含んでおり、画期的なものであるが、それだけに

		その合憲性を巡って学会で議論されることは確実であり、場合によっては裁判で争われることも十分に想定される。そこで、同条例の成立過程や、類似法規及びその裁判例を検証して、同条例の合憲性を確認することを目的とする。
田添 篤史	地域間格差が存在する場合の金融政策依存の問題点	現在のマクロ経済政策は、財政上の制約もあり金融政策に依存する形となっている。しかし金融政策によって決定されるマクロ的諸変数は全国に一律に影響するものであるため、地域間の経済状態に差が存在する場合には、各地域の経済実態を無視した影響を及ぼすことになると考えられる。昨年度はこれについてモデル化を行った。今年度は地域間格差に対して、金融政策の重視がどのような影響を及ぼすものであるかを実証的に検討する。
大畑 智史	租税分野における ICT 活用	近年、世界的に行政など社会の多くの場面で ICT 化の動きが強まってきたことはよく知られている。このような中で、もちろん、租税と直接的間接的に関係する ICT システムは数多く存在している。例えば、クラウド型 ERP、日本におけるマイナポータル、といった ICT システムは租税と大きく関係している。以上のような状況が、三重県の場合においても当てはまることは言うまでもない。本研究では、そうした ICT 化の租税の性質への影響について分析することを目的とする。この分析の中では、できるだけ三重県の場合の分析を考慮することとする。以上の分析は、そうした社会状況の中での租税の適確な施行のためには欠かせないものである。
高橋 彩	青年期における自律性の獲得と親への情報開示方略	本研究は、社会的領域理論に基づき、青年の自律性の発達と親子関係について検討するものである。具体的には、高校生と大学生を対象に、青年が親からの自律性を獲得する方法の一つとして、開示方略（自分に関するどのような内容を、どの程度開示するのか）と親子関係との関連などを質問紙調査によって明らかにする。自律性の獲得は青年期の主要な課題の一つである。児童期には親の作った規則に従っていても、年齢とともにそうした親の管理を拒絶し、自分自身で意思決定を行うことが増える。青年期に親子間で葛藤が増加する理由の一

		<p>つに、青年が個人の自由であると考える事柄に対して、親が規則を作って子どもに従わせようとするのがあげられる。社会的領域理論では、個人に決定権があるという判断は、個人領域の判断ととらえる。例えば、自分のお金の使い方や自由時間の過ごし方、友人の選択という問題は、個人の統制下にある代表的な事柄である。一方、ダイエットをするという問題は、自分の身体のコントロールという意味では個人領域から「自分の問題である」と判断できるが、「青年の健康に害があるから良くない」と自己管理領域からも判断できる。このように社会的領域理論は、私たちが物事を判断、推論するときに用いる正当化を、個人領域、自己管理領域、慣習領域（任意のルールや規範、マナーの観点から判断）、道徳領域（ルールの有無とは関係なく、他者の福祉、権利から判断）として理解する。青年が自分に関する様々な事柄をどの程度個人の自由であると考え、親の統制を拒否するのか、また青年の開示を促す親子関係の特徴は何かを明らかにすることは、青年期の子をもつ親へ有益な知見を提供できると考える。</p> <p>調査対象：三重県内と愛知県内の高校生、短期大学生、大学生</p>
<p>武田 誠一</p>	<p>三重県における「地域共生社会」実現の課題</p>	<p>「地域共生社会」は、地域包括ケアシステムを深化させた状態であり、これまでが高齢者中心であった支援体制を年齢にとらわれない、支援体制の構築を目指すものである。</p> <p>一方で、こういった考え方は、「我が事・丸ごと」や「断らない相談」といったフレーズで語られることが多い。ただ、その実態が何を指しているのかは明確ではない。つまりは特定の事業などを指すものではなく、各地域の独自性に依拠した実践にその価値が求められるものである。</p> <p>そのため本研究では三重県内における「地域共生社会」の実態を把握し、その特徴、課題などを整理する。</p> <p>本研究では、自治体が主導する「地域共生社会」のあり方を明らかにするのみならず、地域住民、介護職、福祉職、保健・医療職の果たす役割にも言及していく。</p>

<p>小野寺 一成</p>	<p>人口減少下での集約型都市構造再編と拠点形成に向けた研究 (その2) ー地方都市における実践と課題ー</p>	<p>2018年度まで在籍した、日本建築学会 都市計画委員会 地方都市再生手法小委員会から継続して、2019年度より同委員会の「地方都市拠点デザイン小委員会」のメンバーであることから、引き続き地方都市再生に関する研究を行う。</p> <p>近年、立地適正化計画制度に代表される人口減少に適応した都市構造再編のための計画制度が整備されている。しかし、人口減少に伴い表出する地区の空間構造の改変を時間的空間的に細かくマネジメントし、望ましいものへと誘導していくためには、単なる「縮小」ではない拠点論、計画論、ネットワーク論、制度論などの拡充が求められる。今年度は、その知見に有用となる全国の先進事例や調査報告文献などを収集するものとする。</p> <p>また、三重短期大学が立地する津市においても、「多極ネットワーク型コンパクトシティ」を念頭に、都市計画マスタープランや立地適正化計画が策定されていることから、2020年度の本研究は昨年度に引き続き、津市においても持続的に発展できるような都市構造の構築に向けて、単なる「縮小」ではない拠点論、計画論、ネットワーク論、制度論などの知見を得るために全国の先進事例などを収集することにある。</p>
<p>北村 香織</p>	<p>障害のある人の地域医療サービス利用に関する研究</p>	<p>障害のある人が医療サービス（代表的なものとして病院での診療）を利用する際には、多くの困難や不便が伴う。それは例えば、高額な医療費の支払いや病院などへの移動手段のなさ、また移動費用の負担、病院内での不安、医療従事者の障害への無理解等といったことがあげられる。今回は、特に「サービスの利用方法」に着目し、障害のある人が病気で診療を受けるまでに感じる利用しづらさはどこにあるのか、利用を阻む要因について分析したい。そして、具体的に地域医療機関や行政などができる改善点や工夫はどのようなものなのか検討する。</p>
<p>長友 薫輝</p>	<p>地域の医療保障・介護保障づくりの政策展開に関する調査～地域医療構想と地域包括ケアシステムの</p>	<p>地域医療構想と地域包括ケアシステムを両軸として、医療・介護供給体制の再編が進められてきた。新型コロナウイルス感染症対策としても、供給体制の再編がどのような姿となるのか、注目されているところである。実際に地域の医療保障・介護保障がどのように整備されてい</p>

	動向から～	るのか。これまで関わってきた秋田県鹿角市、福岡県北九州市における地域調査を行い、各自治体の今後の政策展開に貢献することを目的として研究を進めたい。
駒田 亜衣	津市における平成 30 年度特定健康診査・特定保健指導の解析と 11 年間の推移	<p>現在、「特定健康診査・特定保健指導」開始から 12 年が経過し、11 年分のデータが蓄積されている。三重県津市においても同様であり、これまで平成 20 年から 29 年までのデータを毎年集計・報告してきた。</p> <p>昨年度の研究成果として、津市の 10 年分の特定健診結果を活用し、保健指導実施者のその後の状況を報告した。引き続き、蓄積されたデータの活用方法については課題のひとつとなっている。</p> <p>そこで本研究では、津市で実施された最新の平成 30 年度特定健診結果の解析と平成 20 年から 11 年間の動向（検査値推移や生活習慣の変化）を確認し、今後の健康づくりに役立てることを目的とする。</p>

### ●奨励研究員

奨励研究員名	研究テーマ	研究概要
長友 薫輝	「相模原障害者殺傷事件」の根源を問う	<p>重度知的障害者のみを狙った犯行として知られる相模原障害者殺傷事件を、どのように私たちは受け止めて考え行動すべきか。脆弱な社会保障制度、問われるべき公的責任の所在、そして根底にある優生思想や差別的な対応について、少しずつ整理していきたい。元ハンセン病患者への隔離政策をはじめ、これまでの優生思想や差別にもとづく政策的対応がどのような状況をもたらしたのか、約 20 年ほど前から調査などを通じて関わっており、あらためてここで検討を加えたいと考えている。</p>
特別研究員名	研究テーマ	研究概要
岩田 俊二	明治期以降の農村居住環境整備の発展過程に関する研究 ―特に明治初期から戦後開拓まで―	<p>農村の居住環境整備史を耕地整理法の時代、土地改良法の時代を通して著すことを目的にしている。農村整備は昭和 45 年ごろから本格的に農政の課題となり実施されてきており、その経緯については『豊かな田園の創造 農村整備事業の歴史と展望』（農村整備事業の歴史研究委員会編、日本農業集落排水協会、1999 年）等に明らかにされている。また、耕地整理や土地改良事業については『土地改良百年史』（今村奈良臣、平凡社、1977 年）、『農</p>

		<p>業土木史』(農業土木学会, 1979年5月)等が著されている。しかし, 明治初期から戦後開拓あたりまでの旧耕地整理法の時代における農村居住環境整備の歴史についての著作は見当たらないので, 特に明治初期から戦後開拓までの期間の農村居住環境整備の歴史について調査研究を行う。方法は同期間の農村居住環境整備の歴史について文献資料から通時的な分析を行うとともに, その分析の中から特徴的な事例地区を選択し, 分析を行う。2019年度は明治初期の静岡式の田区改良事例として静岡県袋井市田原地区・磐田市旧富岡村の該当地区, 石川式の田区改良事例として金沢市上安原地区の事例, 明治期耕地整理法施行後の耕地整理の全国モデルとなった埼玉県鴻巣市常光地区の事例を取り上げ, 居住環境整備の観点から分析した。2020年度は戦前戦後の開墾開拓地区の居住環境整備の整備方針を検証し, 事例地区を選定し現地調査を行う。最終的な研究成果は農村居住環境整備の通史部分と特徴的な地区の個別史部分を併記し農村居住環境整備の歴史を明らかにするが研究の狙いは個別史部分に置く。</p>
茂木 陽一	近世・近代移行期における捨子の比較研究(長崎県・三重県を対象に)	長崎・三重両県において、近世の大庄屋文書・藩庁文書(長崎では島原藩、三重では紀州藩・神宮領)、近代の県庁文書から捨子事例の収集を行い、両地域の比較分析を行う。

### 3 令和2年度 三重短期大学出前講座 テーマ一覧表

No	テーマ	概要	講師	備考
1	イギリスの文学や 絵画にみる死生観	「平家物語」などの日本の古典文学に多い、生のはかなさや死への想いは、日本固有のものではありません。イギリスの詩や演劇、絵画の中に死生観をたどり、国や時代を超えた共通の人間の感性に触れます。	学長 村井美代子	
2	「赤毛のアン」を 読み直す	1908年の出版以来、世界中で親しまれている「赤毛のアン」。出版直後から次々に続編が書かれ、仕事を持って結婚し、母になるアンの姿が描かれます。女性が才能を開花させ、仕事と家庭を両立させていくことのむずかしさを、主人公アンの姿と作家モンゴメリの素顔を通して考えてみましょう。	学長 村井美代子	
3	あらすじで読み直 すイギリス小説	「フランケンシュタイン」や「透明人間」、「タイムマシン」、「ガリバー旅行記」など、タイトルが半ば固有名詞化しているイギリス小説は少なくありません。本来のストーリーをたどると、聞き慣れたタイトルから描くイメージとは異なる小説世界が見えてくるかもしれません。	学長 村井美代子	高校生 も対応可
4	外国人との共生に ついて	入管法など外国人の法的地位に関する法制度を解説し、外国人の生活実態調査から見えてくることを通して、外国人との共生の在り方を考えます。	法経科 教授 楠本孝	高校生も 対応可
5	ヘイトスピーチに ついて	「ヘイトスピーチ解消法」やヘイトスピーチに対する川崎市など先進自治体の取組を紹介し、憲法との整合性を検証します。	法経科 教授 楠本孝	
6	少年非行について	巷間言われる少年非行の増加、凶悪化、低年齢化は本当か？犯罪統計を基に検証します。 また、少年法適用年齢を18歳未満に引き下げることの是非についても一緒に考えます。	法経科 教授 楠本孝	
7	ニュースでよく聞 く「行政代執行」 って何？	ニュースでよく取り上げられる「ゴミ屋敷」や、壊れそうで危険な「空き家」などに関連して、「行政代執行」という言葉を耳にします。これは、行政上の強制執行制度の一つとして、行政代執行法に定めがあります。この制度はどのような場面で、どのように使われているのでしょうか。それは、行政の実効性確保の手段として有効でしょうか。行政上の強制執行制度の現状等を考えます。	法経科 教授 藤枝律子	

No	テ ー マ	概 要	講 師	備 考
8	六法を引いてみよう	現代社会において、ある程度の法的知識を身につけておくことは非常に大切なことです。とはいっても、六法をめくってみると、文字ばかりで、なんだか難しそうな文章が並んでいるし、読む気にもならないかも知れません。本講座では、六法を実際に引いてみて、六法の使い方を学んでいただこうと思います。何か面白い発見ができるかもしれません。	法経科 教授 藤枝律子	
9	国家賠償法とその判例	国家賠償法は、国や地方自治体の損害賠償責任に関するルールを定めています。国家賠償法の紹介をしながら、判例を取り上げ、国賠のもつ社会的な役割を考えます。	法経科 教授 藤枝律子	
10	戦後日本社会と政治	戦後日本は、特に欧州の福祉国家諸国と比べると独特な政治の歩みをたどってきました。戦後日本政治を規定してきたのは極めて独特な企業と労働者との関係です。戦後日本の社会と政治を振り返り、現在にも通じる課題を考えていきます。	法経科 准教授 川上哲	
11	東京都政とは何か？	東京都は日本で唯一の特別な行財政制度を有しています。通常の道府県と比べて何が違うのか。そしてなぜ東京だけが独特の行財政制度を有しているのか。東京一極集中が進む中で、改めて「東京」とは何かを考えます。	法経科 准教授 川上哲	高校生も 対応可
12	契約に関する基本ルール	民法には、日常生活に密接に関連する規定が数多く規定されています。講義では、未成年者の行った契約の効力や、詐欺などにあった場合のルールなどについて具体例を用いて幅広くお話しします。	法経科 講師 川上生馬	高校生可
13	相続に関する基本ルール	民法には、相続に関するルールが定められています。2019年より一部相続に関する規定が改正され、これまで存在しなかった制度が創設されました。これにより、これまでとは取り扱いが異なる場合が出てきます。講義では改正点を中心に相続制度全体の解説を行います。	法経科 講師 川上生馬	高校生可
14	基本的人権の保障	日本国憲法において保障される基本的人権について、その種類や性質について解説します。	法経科 講師 鎌塚有貴	高校生可
15	選挙権について	国家と市民の関係について、選挙権をキーワードに考えます。	法経科 講師 鎌塚有貴	高校生可

No	テ ー マ	概 要	講 師	備 考
16	ワークルールと権利意識	労働条件の引下げやリストラ、ハラスメントなど、職場での問題が地域の問題の一つとして挙げられます。このような問題に直面した際、立ち往生や泣き寝入りせざるをえない人も、少なくないのではないのでしょうか。本講座では、重要なワークルールと、それを支える権利意識をもつことについて、考えます。	法経科 講師 西川昇吾	
17	労働組合の活用法	私たちの国の最高法規である日本国憲法は、勤労条件に関する基準を法律で定めること（27条2項）で十分とするのではなく、勤労者の団結権・団体交渉権・団体行動権（28条）をも保障しています。本講座では、労働組合を活用し、自分自身でも、よりよい職場を形成するためのルールについて、考えます。	法経科 講師 西川昇吾	
18	TPP と日米貿易協定	日本は、米国が TPP から脱退したあと残りの 11 カ国に呼びかけ TPP11 を成立させ、米国とは個別に貿易協定を締結しました。こうした大型の貿易協定が日本経済と私たちの生活に与える影響をお話しします。	法経科 教授 石原洋介	
19	日本銀行の異次元の金融緩和は持続可能か？	日本銀行は 2013 年からアベノミクスに連動する形で異次元の金融緩和を続けています。しかし、マイナス金利も導入したのに、インフレ目標の達成すらできません。この政策は有効なのでしょうか？そして、副作用の有無や持続可能性はどうなのでしょう？	法経科 教授 石原洋介	
20	フェアトレードの挑戦	長年の先進国や国際機関からの援助にもかかわらず、世界にはまだ多くの貧しい人々が存在します。近年注目を集める、公正な取引を通じて貧困問題を解決する手法、フェアトレードについてお話します。	法経科 教授 石原洋介	高校生向け
21	決算書の読み方	初学者を対象に、決算書の読み方を講義します。どのような組織体であっても、決算書の作成は重要な役割を果たします。決算書には主に貸借対照表と損益計算書があります。「なぜ決算書を作成するのか？」や、決算書の読み方について、現実の企業と照らし合わせながら、その仕組みを読み解いていきましょう。	法経科 准教授 田中里美	高校生も対応可 ※2020年 9月30日まで
22	キャッシュ・フロー計算書の役割と見方	上場企業の決算書には、連結貸借対照表と連結損益計算書に加え、連結キャッシュ・フロー計算書の開示求められています。貸借対照表や損益計算書については会計学を勉強する上での基本的な位置づけになりますが、キャッシュ・フロー計算書はさらに企業の状況を詳しく理解するための開示書類と位置づけられています。現実の企業のキャッシュ・フロー計算書を用いて、その見方、読み方を解説します。	法経科 准教授 田中里美	※2020年 9月30日まで

No	テ ー マ	概 要	講 師	備 考
23	税とは何か	税金は、われわれの日常生活に非常に密接な関わりがあります。本講義では、なぜ課税されるのか、など、税金に関する根本的な考え方について分かりやすく解説します。	法経科 准教授 大畑智史	
24	マイナンバー制度の今後の課題	日本で、マイナンバー制度の活用が本格化してきています。本講義では、マイナンバー制度の今後の課題について、マイナンバー制度の概要、その民間活用、などの視点を込めて分かりやすく解説します。	法経科 准教授 大畑智史	
25	消費税増税の性質を理解する	消費税増税は日本でもよく議論されています。本講義では、租税負担の公平性の視点からみた消費税増税の性質などのその各種性質を、消費税の歴史、消費税の構造、などの視点を込めて分かりやすく解説します。	法経科 准教授 大畑智史	
26	日本の社会的統合の在り方	どのような社会であれ、その社会が安定するには一定の形で社会全体が統合されている必要があります。日本はどのような形でそれを行ってきたか、そしてどのように変化しているのかをお話します。	法経科 准教授 田添篤史	
27	経済学とは何か	経済学にはいくつかの学派が存在します。それぞれがどのような特徴をもっているのかを、経済学の歴史を振り返りながら解説します。	法経科 准教授 田添篤史	
28	労働の過去・現在・未来	現在、労働を取り巻く環境は大きく様変わりしています。生活と密接な関係にある「働く」ことについて変化の推移をたどりながら、問題や課題について考えたいと思います。	法経科 准教授 浅野和也	
29	経営学とは何か	経営学は主に企業を対象にした学問です。企業活動から見える社会の成長や生活への影響について考えてみたいと思います。	法経科 准教授 浅野和也	
30	マーケティングを通じて自分の価値創造を高めよう	現代においてモノを売る時代からコトを売る時代へと変化しています。マーケティングを通じて自分の生活シーンをどう描いていくか考えていきましょう。	法経科 講師 鷺尾和紀	
31	10代から学ぶパーソナルファイナンスライフプランを考えよう	将来自分がどうなりたいのか。生活していくにはさまざまな費用がかかります。自分の将来設計を考えながらお金にまつわる話をしていきたいと思います。	法経科 講師 鷺尾和紀	高校生向け
32	学習指導要領「生きる力」改定に向けて～大学教育としての私の実践方法～	学校教育の学習指導要領が改訂された。今日デジタル化、AIと騒がれている中、若者がこれからの時代を生きていくためにも教育として抜本的な改革を行っていかねばならない。そこで未来に対応すべく私がすでに取り組みを始めている実践方法を実感して頂きたい。	法経科 講師 鷺尾和紀	

No	テ ー マ	概 要	講 師	備 考
33	音楽を通してみるドイツ語の詩	ゲーテの詩をもとシューベルトが作曲した歌曲『魔王』は非常に有名で、音楽の授業で聴いたことがあるかもしれません。しかしこの他にも様々な『魔王』が存在します。この詩と歌曲の成立についての解説と歌曲の鑑賞を通してドイツ語と音楽の響きとリズムを味わいたいと思います。	法経科 准教授 今本幸平	
34	歌曲『ローレライ』成立の背景	日本語唱歌としても知られるドイツ歌曲『ローレライ』は、19世紀にドイツで沸き起こった合唱ブームの中から生まれました。ドイツにおける合唱運動とはどのようなものか、また耳に馴染みのある旋律ほどには知られていない作曲家ジルヒャーや詩人ハイネの紹介と合わせて、この曲の成立の背景についてお話します。	法経科 准教授 今本幸平	
35	ビタミンとミネラルの話	食品中には、いろいろなビタミンやミネラル（無機質）が含まれています。食生活を豊かにするためには、それらの栄養素の働きを知ることは大切です。13種のビタミンとミネラルについて、体内での働きや多く含まれる食品についてわかりやすく解説します。	生活科学科 教授 橋本博行	
36	いろいろな食中毒と予防方法	良く知られた食中毒として、サルモネラなどの食中毒菌やノロウイルスが原因のものがあります。一方、ジャガイモの芽など動植物に含まれる自然毒が原因の食中毒もあります。安全な食生活を送るために、具体的な食中毒の事例と予防方法について説明します。	生活科学科 教授 橋本博行	
37	メタボリックシンドロームの現状と食生活による予防	メタボリックシンドロームはなぜいけないのか？ 体の中で行われる代謝の仕組みから考え、食生活による予防を目指します。 ワークショップを取り入れ、自分自身で実行可能な行動目標を立てていきます。	生活科学科 教授 阿部稚里	
38	食事をバランスよく食べよう！	バランスよく食べるためにはどうしたらいいのか？ 食事バランスガイドを使って、自分の食事内容を見直し、バランスのよい食事を目指します。 料理カードを使い、自分自身でバランスのよい献立を組み立てていきます。	生活科学科 教授 阿部稚里	
39	栄養士・管理栄養士とは？	栄養士・管理栄養士の仕事内容、栄養士・管理栄養士の活動の歴史など、栄養士や管理栄養士が身近に感じられるようなお話です。 栄養士を目指す学生に、本学食物栄養学専攻の講義内容や在学生の様子なども合わせて紹介します。	生活科学科 教授 阿部稚里	

No	テ ー マ	概 要	講 師	備 考
40	メタボ健診受診の すすめと津市の健 康課題	平成20年から始まった特定健診、いわゆる「メタボ健診」。津市では毎年約19,000名近くの方が受診されていますが、どの検査項目が良好で、どの検査値が要注意なのか、実際のデータ解析から分かった津市の特徴などをお示しし、健康課題について考えます。	生活科学科 准教授 駒田亜衣	
41	海外での栄養士活 動	途上国で青年海外協力隊の栄養士として過ごした2年間の活動を報告します。 ドミニカ共和国と日本の違い、栄養士として活動する中で工夫した点、その他、国の様子や現地の人との生活、食習慣などについてご紹介します。	生活科学科 准教授 駒田亜衣	高校生も 対応可
42	三重県の食状況に ついて	三重県民の食事の状況はどう変わってきたのでしょうか？これまでに実施されてきた県民健康・栄養調査の詳細な解析結果について、全国と比較しながらご紹介します。不足している食品は何か、摂り過ぎに気を付けるべき栄養素は何かなど、問題点や課題について一緒に考えたいと思います。	生活科学科 准教授 駒田亜衣	
43	健康のための運動 と食事	健康に生活するため、運動と食事は重要です。運動と食事が、脳、筋、脂肪、骨、その他臓器に及ぼす影響について説明し、身体を強くするために取り組んで頂きたい活動について紹介します。	生活科学科 講師 相川悠貴	高校生も 対応可
44	競技力向上のため の栄養	スポーツの競技力を向上させるために、栄養は重要です。競技や目指す身体によって、理想の食事や栄養補給方法は異なります。「バランスの良い食事をしましょう。」に留まらないお話をしていきます。	生活科学科 講師 相川悠貴	高校生も 対応可
45	骨の健康を守るた めに	骨量は年齢とともに減少し、骨折しやすい状態になります。特に女性はホルモンの変化により骨量の減少が顕著です。骨の健康を維持するための食習慣、生活習慣についてお話します。	生活科学科 講師 杉野香江	
46	自分に必要な栄養 量を考える	人はそれぞれ必要なエネルギーや栄養素の摂取量が異なります。理想的な体重や、厚生労働省による日本人の食事摂取基準を確認しながら、自分に必要な栄養と食事、さらに健康づくりについて一緒に考えます。	生活科学科 講師 杉野香江	高校生も 対応可
47	ロコモを調べてロ コモ予防	ロコモティブシンドローム（略称：ロコモ）とは運動器の障害により、移動機能の低下をきたした状態をいいます。ロコモ度テストで年代相応の移動機能を維持できているか確認し、ロコモ予防のための生活習慣について考えます。※体験型の講座のため、会場の広さや参加人数によって実施できない場合があります。	生活科学科 講師 杉野香江	

No	テ ー マ	概 要	講 師	備 考
48	健康づくりのための家庭料理を学ぼう	近年、生活習慣病は増加の一途をたどり、食による健康保持・疾病予防の必要性が高まっています。旬の食材を用いた調理実習、味噌汁の食塩量調べなどの実習を通して食からはじめる健康づくりのポイントをお話しします。	生活科学科 助教 飯田津喜美	高校生も 対応可
49	食物からのDNA抽出実験	身近な食材（鶏レバー）からDNAを抽出して白い糸状の沈殿を観察してみましょう。（時間に応じてパワーポイントスライドを併用し実験操作を短縮することも可能です。）	生活科学科 助教 飯田津喜美	高校生 向け
50	保健機能食品を利用してみよう	健康の維持増進の観点から、国の管轄のもと販売されている保健機能食品のうち、主に「特定保健用食品」「機能性表示食品」について概説しながら、レシピ等日常生活での活用方法を提案します。	生活科学科 助教 服部知美	
51	生活習慣病の予防	健康に影響を及ぼす食生活、運動、飲酒、喫煙、睡眠等生活習慣の改善策について、年齢層に応じて幅広くお話をいたします。また必要に応じて、メタボリックシンドロームと特定保健指導について、事例も交えながら解説いたします。	生活科学科 助教 服部知美	高校生も 対応可
52	DNAと健康	DNAの基本的な知識からDNAの役割、近年普及しつつある遺伝子検査とはいったい何なのか、遺伝子に変異があると何が起るのかについてお話します。	生活科学科 助教 福安智哉	
53	腸内細菌叢とは？	最近、腸活が話題ですが腸内細菌叢についてどこまで調査がなされているのか、本当に変わるのかを最新の研究結果を踏まえてお話します。	生活科学科 助教 福安智哉	
54	地域の医療や福祉のことを考える	アイスブレイク、ゲームなど社会福祉援助技術のグループワークという技術を用いて、地域の医療や福祉のことを考えるきっかけを提供します。	生活科学科 教授 長友薫輝	
55	働く前に知っておきたい社会保障のこと	アルバイトなど「働く」ということを通して社会に出る、その前に知っておきたい社会保障のことを考えてみませんか？ この社会で生活する上で知っておいて損はないことばかりです。	生活科学科 教授 長友薫輝	高校生も 対応可

No	テ ー マ	概 要	講 師	備 考
56	障がい者って誰のこと？	<p>普段何気なく使う「障がい者」とは、一体誰のことを指すのでしょうか。</p> <p>視力が悪く、コンタクトを使っている人は障がい者だろうか？「障がい者」とは？ということを確認していく作業を通して、「障がい」とは何なのか、自分が暮らす社会に存在する、障がいのある人を支える仕組みについて考えます。</p>	生活科学科 准教授 北村香織	高校生も 対応可
57	社会福祉のしくみ	<p>社会福祉は、一般的に「思いやり」や「やさしさ」という言葉で語られがちですが、社会福祉とは、「健康で文化的な最低限度の生活」を守るための、具体的な制度やサービスとして存在しています。</p> <p>社会福祉のサービスや制度について、歴史をひもとき、実際の制度を紹介しながら考えます。</p>	生活科学科 准教授 北村香織	高校生も 対応可
58	病院で「もうすぐ、退院です」と言われて慌てないために…	<p>高齢化による医療費増加に伴って、入院期間は短縮される一方です。しかし、そのことは本人・家族が入院して初めて直面する課題となっています。スムーズな退院を実現するために、何をすべきか、事前に知っておきませんか？</p>	生活科学科 准教授 武田誠一	
59	ソーシャルワーカーという仕事	<p>ソーシャルワーカー（社会福祉士，精神保健福祉士）とは、どのような仕事なのか？活躍するフィールドを示しながら、その役割を詳しく説明していきます。</p>	生活科学科 准教授 武田誠一	高校生 向け
60	地域で高齢者の生活を支えるために、私たちができること	<p>国は「自助・互助・共助・公助」による地域包括ケアシステムの整備を進めています。特に近隣住民による「互助」が強く求められています。そこで、私達の地域で何が可能か考えてみませんか？</p>	生活科学科 准教授 武田誠一	
61	人を援助する「私」を知る	<p>地域で福祉ボランティアを始める際に理解しておくべき、対人援助場面でのコミュニケーションのあり方、心構えなど学びます。</p> <p>そして、他者を支援する「私」を知ることの重要性を考えていきます。</p>	生活科学科 准教授 武田誠一	
62	援助のキホーンー専門職の援助観を考えるー	<p>この講座は、対人援助の現場で働く方向けに、人を支援する専門職の援助観を考えていくものです。</p> <p>施設、事業所内での職員研修などを想定しています。</p>	生活科学科 准教授 武田誠一	
63	心理学的観点から道徳について考えよう	<p>私たちの暮らす社会は、犯罪や迷惑行為など「悪い」ニュースにあふれている一方、人道的支援やボランティアなど「善い」行いも多く行われています。具体的な課題や身近な話題を通して、心理学の観点から道徳的判断の起源や個人差を考えていきます。</p>	生活科学科 准教授 高橋 彩	高校生も 対応可

No	テ ー マ	概 要	講 師	備 考
64	自分はどんな性格なの？ パーソナリティ心理学	パーソナリティテストを用いて、自分自身の性格を測定し、自己理解に役立てます。そうしたテストがどのような理論に基づいて作成されているのかも解説します。	生活科学科 准教授 高橋 彩	高校生も 対応可
65	生物多様性を考える	生物多様性の破壊は、地球温暖化問題と並んで、人類にとっての最重要課題となっています。震災と原発事故以降注目されることが少なくなったようですが、問題の重要さや深刻さが解消されたわけではありません。 「生物多様性とは何か」「なぜ保全が必要なのか」「何が求められているのか」といったテーマについて解説します。	生活科学科 教授 南 有哲	高校生も 対応可
66	外来生物問題の環境倫理	生物多様性を脅かす要因の一つとして外来生物問題が注目され、関連する法制度の整備や駆除の取り組みも進んできました。またこの問題は、自然と人間の関係にかかわる多様な論点を提示してくれます。外来生物問題について「環境倫理学」の観点から考えていきます。	生活科学科 教授 南 有哲	高校生も 対応可
67	共に住まう集合住宅	家族や近隣との関係が希薄になり、子育てや介護の不安などから共に住まうことの価値が見直されています。このような集合住宅の特徴について紹介します。	生活科学科 教授 木下誠一	
68	高齢者の住まい	高齢者の方が心身の状況に応じた住まいを確保し、生活支援や介護サービスなどを利用しながら安全で快適に暮らせる住まいについて考えます。	生活科学科 教授 木下誠一	
69	住民参加とコミュニティ	全国各地で住民参加のまちづくりが取り組まれており、少子高齢化や人口減少化の時代に、その必要性が問われています。木造密集市街地の住環境整備と公営住宅の建替え事業や公園づくりのワークショップを事例に、コミュニティの形成などに向けた、住民主体のまちづくりの大切さについて考えていきます。	生活科学科 教授 小野寺一成	高校生も 対応可
70	都市計画とまちづくり ～持続可能な多核ネットワーク型コンパクトシティの形成に向けて～	まちづくりという言葉はよく耳にしますが、その基本となる都市計画についてはあまり知られていません。日本における都市計画とまちづくりの変遷を解説しながら、都市づくりやまちづくりに必要な都市計画法・制度等についてやさしく紹介します。 また、人口減少化時代における持続可能な多核ネットワーク型コンパクトシティの形成に向けた取り組みを考えていきます。	生活科学科 教授 小野寺一成	

No	テ ー マ	概 要	講 師	備 考
71	まちづくりと景観計画	全国各地で都市景観の乱れが進行している中、環境問題や生活の豊かさへの関心の高まりとあわせて、都市景観づくりに対する市民の意識が高まっています。ここでは、魅力あるまちづくりの一環としてアーバンデザインの考え方やまちづくりと景観計画について紹介します。	生活科学科 教授 小野寺一成	
72	SNS を利用するときの注意点と活用方法	近年、Twitter や Instagram などの SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)を利用する機会が増えており、それにより SNS でのトラブルも増えてきています。SNS を利用する場合の注意点と活用方法を紹介します。	生活科学科 准教授 笠浩一朗	高校生も 対応可
73	プログラミング教育で何が変わるのか?	プログラミング教育の必修化により、プログラミングへの関心が高まっています。 プログラミング教育とは、どのようなもので、どのような能力が身に着くのか解説します。	生活科学科 准教授 笠浩一朗	
74	人工知能の現状と近い将来	ディープラーニングによって人工知能が急速に進化しており、それにより社会が大きく変わろうとしています。人工知能が今できること、近い将来起こることについて紹介します。	生活科学科 准教授 笠浩一朗	高校生も 対応可

2020年度(令和2年度)  
三重短期大学地域連携センター年報  
令和3年12月

発行 津市立三重短期大学 地域連携センター  
〒514-0112 三重県津市一身田中野 157 番地  
TEL 059-232-2341 FAX 059-232-9647  
E-mail 232-2341@city.tsu.lg.jp